総合文化展 | 見どころ案内

日本美術の流れ

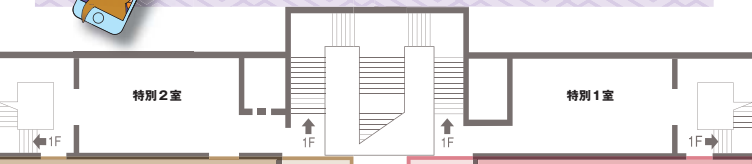
本館2階

［2月○3月］

縄文から江戸まで、
ほんものでたどる日本美術史

今日のオススメ

マークの作品は、スマートフォン向けアプリ「トーハクなび」で音声ガイドをお楽しみいただけます。



7 屏風と襖絵 ── 安土桃山・江戸

（部分）

山水人物図襖
2/7 火 ― 3/20 月・祝
呉春筆
江戸時代・18世紀
植松嘉代子氏寄贈
呉春晩年の大作で、円山応挙の人物画の影響が顕著にみられます

（右隻）

◎西湖春景・銭塘観潮図屏風
2/5 日
池大雅筆　江戸時代・18世紀
中国に行ったことがなくても描けちゃいます。大雅の非凡な想像力に脱帽！

5 6 武士の装い ── 平安～江戸

◎太刀 無銘 大和物（号 獅子王）
3/22 水 ― 6/4 日
平安時代・12世紀
◎黒漆太刀（◎太刀 無銘 大和物（号 獅子王）の拵）
鎌倉時代・13～14世紀

号の由来などは不明ですが、刀身とその刀装が古くから伝わった点は貴重です

◎黒糸威二枚胴具足
3/12 日
江戸時代・17世紀
徳川家康の四天王の1人、榊原康政が用いたもので、当世具足の優品です

4 茶の美術

茸付茶入 銘 於大名

美濃江戸時代・17世紀
塩原千代氏寄贈
小堀遠州が八条宮智仁親王より拝領したと伝えられる茶入です

志野茶碗 銘 橋姫
3/20 月・祝
美濃
安土桃山～江戸時代・16～17世紀
松永安左エ門氏寄贈

志野茶碗のなかでもことに大きく、堂々としています

8-1 暮らしの調度 ── 安土桃山・江戸

◉枝垂桜蒔絵棗
1/31 火 ― 4/23 日
江戸時代・17世紀
広田松繁氏寄贈
枝葉を巧みに配し、一本の枝垂桜で器表を覆うようなデザインです

群鶴蒔絵硯箱
1/29 日
江戸時代・18世紀　松永安左エ門氏寄贈
大胆な構図と鉛板の使い方が、当時人気の光琳風です

8-2 書画の展開 ── 安土桃山・江戸

新三十六歌仙図帖（下帖）
2/5 日
狩野探幽筆　江戸時代・寛文4年（1664）
繊細にして華麗、将軍綱吉に嫁ぐ娘に鷹司房輔が贈った名品です

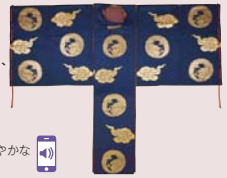
茶事挿書
2/7 火 ― 3/20 月・祝
細川三斎筆
江戸時代・17世紀　金谷寛氏寄贈
大きな茶会のしつらえの様子がうかがわれる記録です

周茂叔林和靖図屏風
狩野探幽筆　江戸時代・17世紀
中国の著名な文人たちの故事をマルチスクリーン風に表しています
（部分）

9 能と歌舞伎

唐織 紅地椿牡丹蝶宝模様
2/26 日
能装束や中啓に表される伝統的な日本の吉祥模様をご覧いただきます。
江戸時代・19世紀　文化庁蔵
「長春花」と称される椿、富貴の花である牡丹など吉祥に満ちたデザインです

狩衣 紺地雲龍丸模様
2/28 火 ― 4/16 日
謡曲「春日龍神」をテーマに、江戸時代の能面・能装束を中心に展示します。
江戸時代・18世紀
龍の模様を織り出した華やかな金襴の狩衣です



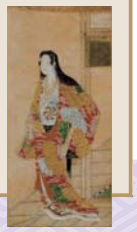
10 浮世絵と衣装 ── 江戸

【浮世絵】

隅田川図巻
1/29 日
お正月にちなんで、羽根突や万歳、吉祥モチーフを描いた作品を紹介します。
鳥文斎栄之筆
江戸時代・19世紀
恵比須、大黒天、福禄寿が隅田川を上って吉原通い。3福神が揃って縁起が良い

雪中美人と下男
1/31 火 ― 2/26 日
天神様や、梅や雪をテーマとした2月にふさわしい作品を中心に展示します。
○栄松斎長喜筆
江戸時代・18世紀
胡粉の雪が静かに舞い落ちる。情感溢れる作品

美人図
2/28 火 ― 3/20 月・祝
肉筆画の優品と春らしい作品を中心に紹介します。
筆者不詳
江戸時代・17世紀
寛文美人を代表する優品です



【衣装】 2/26 日
吉祥模様を表した華やかな女性の晴着を紹介します。

◎小袖 黒紅綸子地草木鶴亀幾何学形模様
江戸時代・17世紀
さまざまな吉祥模様を表した江戸時代初期の晴着です

小袖 茶平絹地椿枝垂柳掛軸模様
2/28 火 ― 4/16 日
春の訪れが感じられる花の模様や、江戸時代の婚礼衣装を中心に紹介します。
江戸時代・18世紀
雛形本にも掲載されるデザイン。友禅染の優品です

1-1 日本美術のあけぼの ── 縄文・弥生・古墳

壺形土器
7/16 日
青森県五戸町倉石中市日向出土
縄文時代（後期）・前2000～前1000年
棺として死者を葬るにふさわしい美しさを備える大形の壺形土器です

袈裟襷文銅鐸（三遠式）
静岡県浜松市北区細江町中川（悪ヶ谷）出土
弥生時代（後期）・1～3世紀
鹿と水鳥が描かれた大きくて華麗な銅鐸です

1-2 仏教の興隆 ──飛鳥・奈良

賢愚経断簡（大聖武）
2/5 日
伝聖武天皇筆　奈良時代・8世紀
筒井邦子氏寄贈
賢者と愚者に関する話を集め、聖武天皇の筆跡と伝える貴重な経切です

（部分）

称讃浄土仏摂受経
2/7 火 ― 3/20 月・祝
奈良時代・8世紀
阿弥陀経を訳したもので、天平時代のわずか9年間に遡られた貴重な真写紙を使っています

◎日光菩薩坐像
4/23 日
京都・金輪寺、京都・高山寺旧蔵
奈良時代・8世紀
整った顔だちや自然な衣文表現などにご注目ください

2 国宝室

（部分）

◉楼閣山水図屏風
2/12 日
池大雅筆
江戸時代・18世紀　圃伊能氏寄贈
中国の著名な景勝地を描いた屏風。金地に映える人物の鮮やかな色彩にご注目ください

◉群書治要 巻三十一
2/14 火 ― 3/12 日
平安時代・11世紀
唐の太宗の命により編纂された、治政の参考書

（部分）

（左隻）

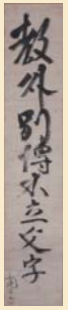
◉花下遊楽図屏風
3/14 火 ― 4/9 日
狩野長信筆
江戸時代・17世紀

3-3 禅と水墨画 ── 鎌倉～室町

○囲棋観瀑図屏風
2/7 火 ― 3/20 月・祝
伝狩野元信筆
室町時代・16世紀　増岡ツマ氏寄贈
大画面に展開する大いなる自然を満喫してください

（左隻）

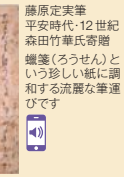
一行書「教外別伝不立文字」
2/5 日
一休宗純筆
室町時代・15世紀
真の仏の教えは言葉の外にある、という禅の根本を説いた八文字



3-2 宮廷の美術 ── 平安～室町

◎銅梅竹透釣燈籠
2/7 火 ― 3/20 月・祝
千葉市中央区千葉寺町千葉寺址出土
室町時代・天文19年（1550）
畑野勇治郎氏寄贈
釜の産地として有名な天命（現 栃木県佐野市）で作られた秀麗な燈籠です

古今和歌集切（巻子本）
2/5 日
藤原定実筆
平安時代・12世紀
森田竹華氏寄贈
蠟箋（ろうせん）という珍しい紙に調和する流麗な筆運びです



3-1 仏教の美術 ── 平安～室町

◎毘沙門天立像
3/20 月・祝
平安時代・応保2年（1162）頃
川端龍子氏寄贈
均整のとれた体つき、きらびやかな彩色はまさに王朝貴族の美意識です

釈迦三尊十六羅漢像
2/7 火 ― 3/20 月・祝
鎌倉時代・14世紀
釈迦信仰・密教・聖徳太子信仰を融合、鼓吹した真言律宗の思想を反映した作例

◉は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品を表します。　❀は「博物館でお花見を」関連作品です。

＊このパンフレットは、東京国立博物館ニュース第741号の8－9ページをもとに作成したものです。ニュース本体は、本館インフォメーションで配布しています。
＊「トーハクなび」はあらかじめご自身のスマートフォンにダウンロードしてください。　＊展示室で音声を聞く場合は、イヤフォンが必要です。

©2017. 1　東京国立博物館